

從四位上高麗朝臣福信に勅して難波に遣  
はし、酒肴を入唐使藤原朝臣清河等に賜ふ御

歌一首 并せて短歌

### 四二六四番

そらみつ 日本やまとの国くには 水みづの上うへは 地行つちゆくごとく  
舟ふねの上うへは 床とこに居をること 大神おほかみの 齋いはへる国くにそ  
四よつの舟ふね 舟舳ふなのへなら並なべ 平たひらけく 早渡はやわたり来きて 返かへ  
り言こと 奏まをさむ日ひに 相飲あひのまむ酒きそ この豊御酒とよみきは

反歌一首

### 四二六五番

四よつの舟ふね はや歸かへり来こと しらか付つけ 朕わが裳もの  
裾すそに 齋いはひて待またむ